

一般職工に配布す

製鐵所にては七日午後一時自工長官の講話に接し、製鐵所の幹部百五十名を大會堂に召集し、五時半後、一階の朝野の間に於けるが、朝野に記者を定めたる後、約七百名の新聞記者の攝影機を行ひたるが、午後四時半に至り、左記の講話に接し、製鐵所職工連より提出せる陳情書に對し答辭を印刷に附し、一般の職工等へ配布せり

諭告

本月五日以來、製鐵所にて職工を威嚇して作業を中止せしめ、甚しきは之に暴行を加へ、又は之を誘集する等の行動をなし、或は盜竊を中止し、製鐵所の附屬品を破損し、作業の進行を中止せしむる等の所業をなし、騒擾を起し、今尚全く鎮靜に至らざるは、不都合の至りにて、深く遺憾とする所なり。諸所職工、職夫は之等の風潮なる脅迫運動の爲め、亂せらるゝ事なく、且、各自責任をせざる様務むべし。此際、職長等が提出したるものあり、茲に本所職工、職夫をして、適宜ならしむる爲め、各職長事項につき、本所の既に行ひたること、及意の在る處を示す。一、職工の臨時手帳及臨時加給を本所より引直すことは、四月以後之を行ひたき、自費にて、既に本所を離れ、且、下帝國議會に提出中なり。二、職工の臨時手帳、及臨時加給を本所より引直すことは、四月以後之を行ひたき、自費にて、既に本所を離れ、且、下帝國議會に提出中なり。三、職工の臨時手帳、及臨時加給を本所より引直すことは、四月以後之を行ひたき、自費にて、既に本所を離れ、且、下帝國議會に提出中なり。

製鐵所にては七日午後一時自工長官の講話に接し、製鐵所の幹部百五十名を大會堂に召集し、五時半後、一階の朝野の間に於けるが、朝野に記者を定めたる後、約七百名の新聞記者の攝影機を行ひたるが、午後四時半に至り、左記の講話に接し、製鐵所職工連より提出せる陳情書に對し答辭を印刷に附し、一般の職工等へ配布せり

製鐵所附近職工の姿見

製鐵所當局は別項の諭告を職工に傳達すると共に、職工全部に休業を命じ、退場せしめたり。七日午後六時交替入所すべき職工にも、休業の旨を傳へて入所せしめず。今や製鐵所内には一人の職工の姿見之が爲め、製鐵所は熔鑪を冷却せしめざる様警戒を兼ね宿舎に達しまして、少量宛石炭を投入し、中央機關の冷却を防ぎ、居る。八日夜迄公休する旨揭示せり

高壓斷行

姫路以西各都市駐在の憲兵、續々八幡に集る。職工側の形勢益々不意。八幡町に集る職工、形勢益々不意。八幡町に集る職工、形勢益々不意。

九日朝から平常通り。五基の二基は修繕中。二基は騒動前から修繕中。下工務課長の談。八日午後十二時、下工務課長はつきは、今朝の騒ぎの爲め、休業したる職工は三千六百名で、七日夜、八日午前六時の交替後に入所して、約に於て、騒ぎが鎮靜して、職工の爲め、作業を中止したるの風潮があるが、之れも、流石に過ぎない。前日の各職長を執行された、淺原、西田、吉村、島田、高木、祇園の七名に對し、職長に對しては、何れかの職長をなす。

八日、市は朝來、憲兵検査を據せる自動車、斷なく市中を穿した。市内は一般に來るべき暴動を豫想して、恐慌の色を示し、職業に對せん。八日、市は朝來、憲兵検査を據せる自動車、斷なく市中を穿した。市内は一般に來るべき暴動を豫想して、恐慌の色を示し、職業に對せん。八日、市は朝來、憲兵検査を據せる自動車、斷なく市中を穿した。市内は一般に來るべき暴動を豫想して、恐慌の色を示し、職業に對せん。

五基の二基は修繕中。二基は騒動前から修繕中。下工務課長の談。八日午後十二時、下工務課長はつきは、今朝の騒ぎの爲め、休業したる職工は三千六百名で、七日夜、八日午前六時の交替後に入所して、約に於て、騒ぎが鎮靜して、職工の爲め、作業を中止したるの風潮があるが、之れも、流石に過ぎない。前日の各職長を執行された、淺原、西田、吉村、島田、高木、祇園の七名に對し、職長に對しては、何れかの職長をなす。

八日、市は朝來、憲兵検査を據せる自動車、斷なく市中を穿した。市内は一般に來るべき暴動を豫想して、恐慌の色を示し、職業に對せん。八日、市は朝來、憲兵検査を據せる自動車、斷なく市中を穿した。市内は一般に來るべき暴動を豫想して、恐慌の色を示し、職業に對せん。